



様式第5号 (第5条関係)

令和元年12月17日

益田市議会議長
中島 守 様

議員 久保 正典



益田市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり提出します。

令和元年度(後期)政務活動費収支報告書

1 収 入
政務活動費 60,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	67,400 円	東京都江東区 有明興業株式会社
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	67,400 円	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費支出報告（調査研究費）

<p>視 察 先</p>	<p>東京都江東区若洲39 有明興業株式会社</p>
<p>調 査 日</p>	<p>令和1年10月28日 ～ 令和1年10月30日 （視察日：令和1年10月29日）</p>
<p>視察内容</p>	<p>廃棄物の中間処理、一般廃棄物の中間処理、廃棄物による燃料製造、鉄スクラップの資源化等不燃ごみの100パーセント資源化を目指す先進的事例を視察することにより、今後の益田市のごみ処理政策を学ぶ。</p> <p>面談者： 有明興業（株） 環境推進部長 丸山 雅明 事業企画部課長 萬谷 和将 第2営業部 佐々木啓成 （益田市出身）</p> <p>： 江東区環境清掃部リサイクル 課長 河野 佳幸 係長 山本 哲之 江東区議会事務局 調査係 藤井 真章</p> <p>○ 有明興業株式会社の概要 資本金 4億1千万円 従業員数 84名 敷地面積 8,991.90㎡ 主要加工処理設備 480馬力プレシュレーター・2,000馬力シュレーター ローターシャー・圧縮梱包機・60t台貫・ プライベート岸壁（2,000トン級） 支店、関連会社 リサイクルサポート・京浜島工場・市原工場・有明支店 八丈島営業所・株式会社富士商会・フジメタルリサイクル 株式会社</p> <p>○ 東京都江東区の概況（令和元年7月1日現在） 人口 521,199人 面積 40,16㎢ 一般会計予算 2,054億円 特別会計予算 967億円 職員数 2,715人</p>

現在、東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、「スポーツと人情に熱い江東区」を方針に掲げてPRに務めている。

○ 有明興業株式会社（萬谷課長からの説明）

当社は、高度経済成長期（1950年代）の環境破壊に着目し、設立した会社で、東日本にグループ全体として19箇所の拠点があり、ネットワークを完備している。

現在日本の産業廃棄物の総排出量は、年間約4億トン、このまま経済、産業の発展に伴って産業資源の大量消費が続けば、資源規模からすると後三つの地球が必要といわれている。限られた資源を守り、エネルギーを有効活用することが喫緊の課題である。

当社は、そうした観点から業界でもいち早く国内リサイクル100パーセントを目標に掲げて取り組んでいる。混合廃棄物、金庫などの処理困難物、車やFR船などの大型廃棄物、行政から依頼される押収品、可燃リサイクル法に基づく特定家庭機器等も受け入れている。現在の処理能力は年間90万トンで国内では最大級である。

又、再資源の一環として、古紙やプラスチックなど化石燃料の代替品として高品質なRPF（固形燃料）を製造して、環境負荷、製造、物流コストを低減する次世代エネルギーとして産業界から注目されている。

一方で新たな取り組みとして、建造物の解体、仕分け、廃材運搬等の一連の作業を担うワンストップリサイクルシステムを構築した。

このような作業工程にあたっては、安全性や環境への配慮が特に必要なことから、全社員の安全管理研修の受講を義務付け、会社としてはISO14001、ISO27001を取得している。

設備においては、全工場に放射能感知器や環境に配慮したソーラー発電を導入している。会社が目指す安全性は妥協を許さないリサイクルクオリティー精神がある。

又、港には2000トンクラスの大型船舶が接岸できる岸壁があり、全国各地から廃棄物を受け入れ燃料等のリサイクルが可能となっている。リサイクル契約件数は、46,000件を超えた。

時代はリサイクルを考える時代からリサイクルの品質を選ぶ時代に向けて進んでいる。

本日視察の若洲工場は、昨年13万トンの廃棄物処理を受け入れた。そのうち約9割は産業廃棄物である。

不燃ごみは埋め立て処分場に限りがあり、又新たな用地確保も難しい。よって、なんとか延命化できないかと模索している自治体も多い。江東区は、東京の他の区に先駆けて2015年から不燃ごみの再資源化に取り組んできた。若洲工場では受け入れた不燃ごみは破碎し仕分けして、廃プラ等とブレンドして燃料化RPFにしている。熱源として石炭の代替としてボイラーの燃料等に使用されている。

○ 質疑

- ・ RPFの製造料はどのくらいか。
→ 年間 2,000トンである
 - ・ 施設建設費用はいくらか。
→ 10億単位で非公表である
 - ・ 江東区とのかかわりは。
→ 基本的には産業廃棄物処理会社であるが、江東区からのごみも受け入れている
 - ・ 年商は。
→ 非公表
 - ・ 区民のごみ排出負担金は。
→ 一般の区民は可燃・不燃を問わず無料。事業者に対しては有料化である
 - ・ 従業員数は。
→ 有明興業(株)としては社員130名、男女比率は男7女3、人材確保に苦慮している
- 現場は協力事業所に委託して24時間操業、日曜日は休日

○ 視察者

寺井良徳、久保正典、弘中英樹、永見おしえ、寺戸真二
各議員

<p>経 費</p>	<table border="0"> <tr> <td>交通費 67,400</td> <td>円</td> <td>宿泊費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>円</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>円</td> <td>合 計 67,400</td> <td>円</td> </tr> </table>	交通費 67,400	円	宿泊費	円		円		円		円	合 計 67,400	円
交通費 67,400	円	宿泊費	円										
	円		円										
	円	合 計 67,400	円										
<p>所 感</p>	<p>今日まで循環型社会の形成に向かって、資源の節約、リサイクル等、3Rの運動を推進するため産業界、住民、行政等が一体となって幅広い取り組みを進めてきた。そうした取り組みが埋め立て用地の延命化や地球温暖化問題の対応などにもつながってきた。</p> <p>今回、一般廃棄物の中間処理、廃棄物による燃料製造、鉄スクラップの資源化等不燃ごみの100パーセント資源化を目指す先進的事例を目の当たりにして、本市も学ばなければならない点があることを感じた。</p> <p>その一つは、工場では受け入れた不燃ごみは破碎し仕分けして、廃プラ等とブレンドして燃料化RPFにし、熱源として石炭の代替としてボイラーの燃料等に使用されている点である。又、設備においては、全工場に放射能感知器や環境に配慮したソーラー発電を導入するなど再生資源の有効活用と自然エネルギーの活用によって、地球環境にやさしい次世代型のリサイクル社会の一員を担っていることである。こうした点を即座に本市のリサイクルプラザあるいは焼却場に活かしていくには設備投資が必要で困難であるが、将来計画にはぜひ必要なことであろう。</p>												

領 収 証

№ 012236

久保 正典 様

令和 1 年 10 月 24 日

領収金額	百万	千	円
		674	00



但し 10/8 ~ 10/30 航空券 + 宿泊代金として

上記金額正に領収致しました



島根県知事登録2-9号 全旅協保証社員
株式会社 **全国観光公社**
〒698-0023 島根県益田市常盤町5番29号
TEL (0856) 22-1144 内
FAX (0856) 22-1141
E-mail: info@zenkannet.jp

